

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 30 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 26 日 作成

事務事業名	地域改善対策高等学校等奨学資金返還事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名	財津幸泰
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨
	基本事業	57	子育ての経済的負担の軽減	所属班	啓発教育班	(内線)	2427
				法令根拠			

予算科目	会計 1	款 3	項 1	目 8	事業連番 11285	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	
事業期間									
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)									

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 地域改善対策事業の奨学資金貸付事業(県委託事業)の納付書発送及び納付相談等を行う事務事業である。

【業務の流れ】
 ①県から納入通知がくるので随時借り受け人に送付する②督促状の送付③免除申請等相談業務④免除申請事務⑤納付相談⑥事務交付金請求事務

【主な予算費目】(歳入)県返還事務費交付金 (歳出)消耗品費・役務費・備品購入費

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 旧地域改善対策事業の奨学資金貸付事業の償還事務を行う業務を啓発教育班と両隣保館合同で行う。
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 旧地域改善対策事業の奨学資金貸付事業の償還事務を行う業務を啓発教育班と両隣保館合同で行った。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
地域改善対策事業の奨学資金貸付事業で借りた者	→ アイ 納付書発送件数 件
	→ イ 免除・猶予申請件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
奨学資金を完済してもらう。	→ アイ 返還対象者 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
県財政の自主財源が確保できている。	→ アイ 現年度分収納率(県全体) %
	→ イ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
	→ アイ 過年度収納率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円		172	187	187	151	151		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	0	172	188	191	152	152		0
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		4	4	3	4	4		4
		延べ業務時間	時間		30	30	70	30	30		30
(B)人件費計		千円	0	119	119	279	119	119	119		
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	291	307	470	271	271	271		
活動指標	アイ	件		41	38	16	15	50	50		
対象指標	アイ	人		110	106	46	35	35	35		
成果指標	アイ	%	57	58	55	54	58	58	58		
上位成果指標	アイ	%	11	11	6	4	11	11	11		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 昭和44年より、同和対策事業特別措置法の制定をきっかけに開始される。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 昭和44年に同和対策事業特別措置法が制定され、その法が平成14年には失効し、貸付も終了し、現在は償還業務のみを行っている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 奨学資金を借りたが収入が少なく返還が厳しい方については、免除申請をしてもらうが、収入要件等で対象にならなかった方から、何とかならないかとの苦情を聞

事務事業名	地域改善対策高等学校等奨学資金返還事務事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 納付書発送、納付相談により奨学資金の完納を進めるという結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 県から貸付をし、回収業務を市でしなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 貸付金償還者を対象としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 破産、行方不明、支払いが困難である等の理由で納入が滞っている償還者が増加傾向にあるので、納付相談を定期的および早期に対面で行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 県の債権であるので、事業を廃止したら、債権回収ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 奨学資金貸付事業の償還事務があるが、事業が違うため統合が出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県の委託事業であるため、県からの委託事業を取りやめられないかぎり削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 納付相談件数が増加傾向であるため、納付相談は対面で行う必要があるため、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域改善対策事業の奨学資金貸付事業の償還者を対象としており、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適正である。 ②有効性については、納付相談を定期的および早期に対面で行う。 ③効率性については、適正である。 ④公平性については、適正である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 県からの委託事業であるため、県からの委託内容の変更がない限り現状維持で行う。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

県の委託内容を変更してもらう(県による直接償還事務の実施)

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)